

推進テーマ

再発見 !! 幼保小連携

～コロナ禍を経た、新たな連携に向けて～



万騎が原地区
万騎が原幼稚園
横浜市柏保育園
万騎が原小学校

推進テーマ設定の理由

長期に渡った新型コロナウイルス感染症の影響で、人との関わりが希薄になっている。当然子どもも同様で、多様な人との関わりができていないのが現在の学校の状況である。

近隣の幼稚園や保育園と関わることにより、他者との関わりを意識した行動や、友達との協働によってよりよいものを生み出すことができるようにしていきたい。特に低学年の子どもが取り組むことで、自己肯定感も育てていきたい。

推進内容

- スタートカリキュラムの見直し
- 中断していた幼保小との連携の再開
(昨年度から)
- 子どもの思いや願いを生かした活動による交流
- 教職員同士の交流

今年度の重点課題 ～今年度力を入れたこと～

スタートカリキュラムの見直し

万騎が原小学校が大切にしたいこと

- ①子どもが学校生活に対して安心感をもつことができるようにすること。
- ②この時期の発達段階をふまえ、生活の中の興味・関心を核とした活動や体験を中心とした学習を取り入れることによって、幼児教育との滑らかな接続を図ること。
生活科を中核とした合科的・関連的な学習を構成していくこと。
- ③遊びを通して、新しい集団の中での人間関係を徐々に築いていけるようにすること。
- ④新しい集団のルールを受け入れ、その中で自己発揮できるようにすること。
- ⑤? (はてな) から創る学校生活を心がけること。

スタートカリキュラムの見直し

「まきまきタイム」の新設

まきまきタイムとは…遊びを通して心を整える時間!

	4月		5月		6月		7月	
	第1~2週	第3~4週	第1~2週	第3~4週	第1~2週	第3~4週	第1~2週	第3~4週
朝	まきまきタイム		まきまきタイム		まきまきタイム			
1	なかよしタイム		わくわくタイム		わくわくタイム		わくわくタイム	
2					ぐんぐんタイム		ぐんぐんタイム	
3	わくわくタイム		ぐんぐんタイム					
4	わくわくタイム							
5		ぐんぐんタイム						

まきまきタイムの様子

学校へ来てしたくをしたたら、とにかく遊ぶ!

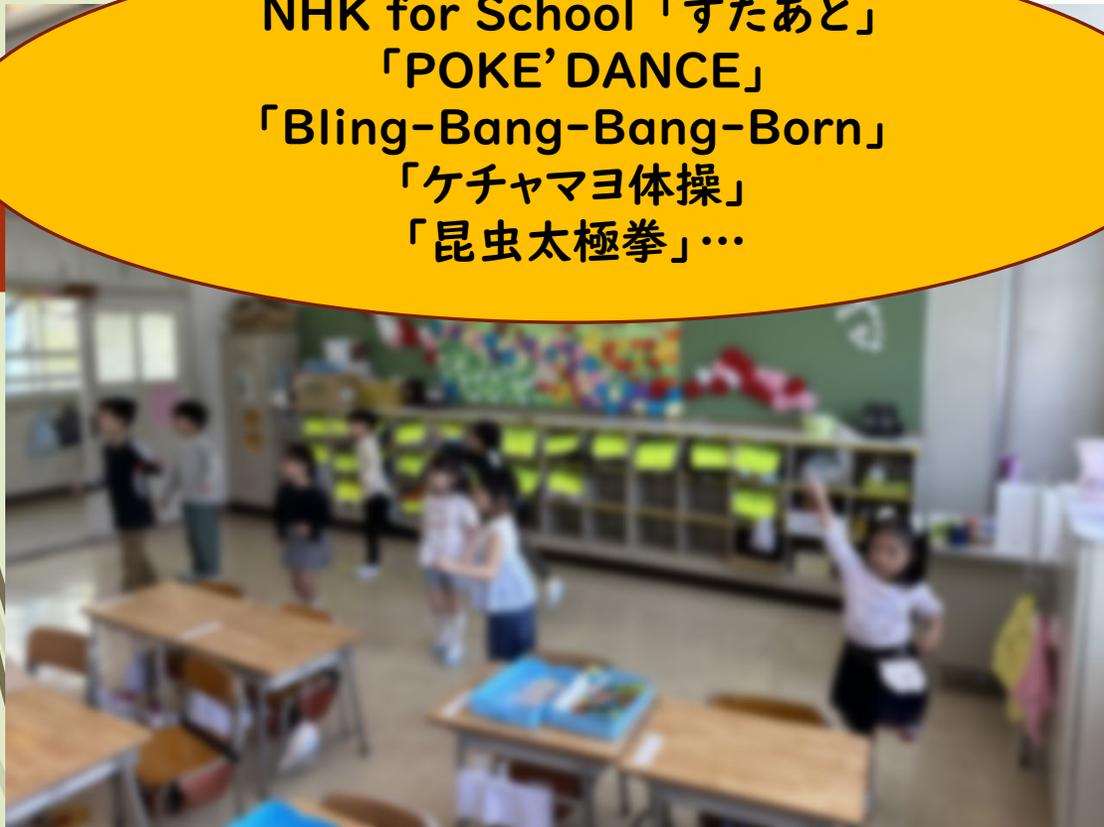
遊びを通して、自然と関わりが
生まれていった
遊びの力ってすごい!



朝のルーティーンづくり

まきまき→ダンス→読み聞かせ

NHK for School 「すたあと」
「POKE' DANCE」
「Bling-Bang-Bang-Born」
「ケチャマヨ体操」
「昆虫太極拳」…



「園でも読んだことある!」
↓
安心感



「自分で考える」1年生に!

年度当初に1年生の方針を職員に共有

1年生の方針・共通理解したいこと

⇒「自分で考える」1年生にしたい。

そのために…

①スタートカリキュラムを大切に

→持続可能になるように、週案に記載する。

→全職員でスタートカリキュラムの共有をする。(別紙)

→「早く学校に行きたいな」につながる入学式※皆様にもご協力いただきます!

②遊びを通した関係づくり

→まきまきタイム(仮)の設定

目的「遊びを通し、心を整え、友達や先生との関係を自然につくる」

B棟多目的室の活用、登校してから2~30分は遊びの時間!

※専科の先生や6年生にもサポートをお願いしたいです。

→意図的な遊び道具の準備をする。

例:園で使っていたもの(カプラ、塗り絵、折り紙など)

学校で使うもの(数え棒、けんステップ、算数ブロックなど)

→遊びと学習の垣根をなくす。遊びと学習をつなげる。

③「?(はてな)」から創る学校生活

→「園ではどうしてた?」がキーワード。与えるのではなく、子どもが創っていく。

(規律などもここで自然と学べるように)

→日常生活がまるごと学習になるように。「物」から、「人」「環境」につながっていく。

→「?」から学校探検につなげていく。※2年生とは行わず、自力で進める。

④SOSを出せるように

→教職員、上級生の関わり方を見直す。「助けて(教えて)あげる」→「見守る」に。

→基本的には自分でやらせる。困ったときに1年生から言って来たら、教えてあげ

られるように…。(あくまでも「助ける」ではなく)

「自分で考える」1年生にしたい!

つい最近まで、園では
「憧れ」の年長さん!

「園ではどうしてた?」
「どうしたいの?」を
口癖に!

「助ける」のではなく「見守る」
全職員に共有した。

「？」から創る学校生活

子どもの経験を生かす!



つい最近まで、園では
「憧れ」の年長さん!

出てきた「？」を蓄積する。
子どもたちで解決方法を考える。

日常生活が丸ごと学習!

2年生との学校探検は
やめました!

スタカリは入学式から始まっている!

「入学式」の有効活用

おはようございまーす。「まきまき宅配便」でーす!
1年生の皆さんに荷物を届けに来ました!



スタカリは入学式から始まっている！

小包の中からは巻物が！！

「入学式」の有効活用

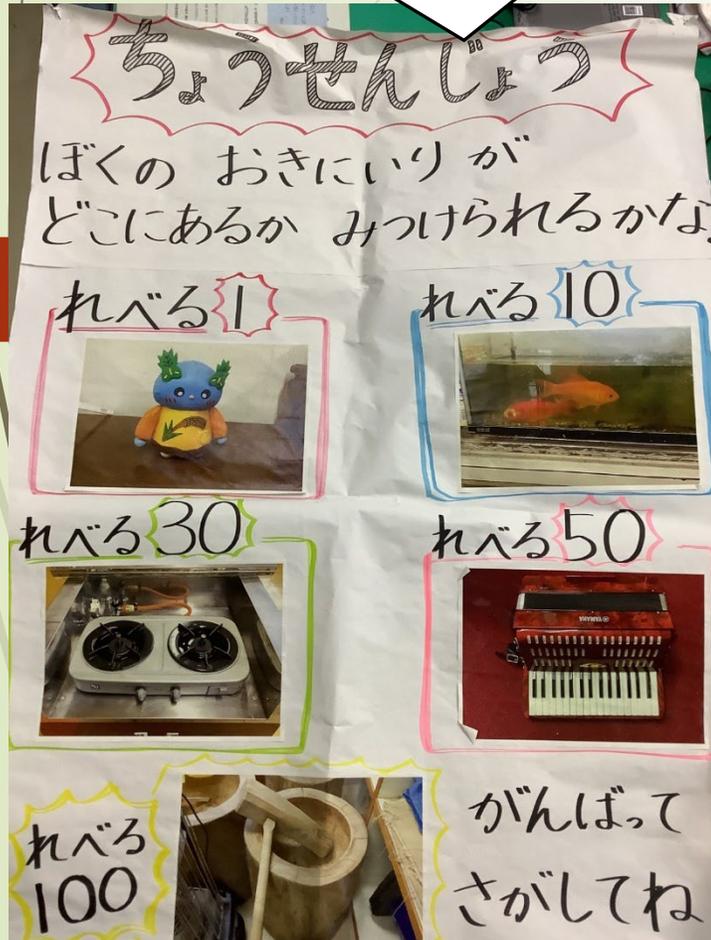


学校が楽しみ！
早く学校に行きたい！

生活科の学習へ
自然とつながられる。

遊びの延長に
学習がある！

「先生、勉強っていつ
するの…？」



7/23 保育園体験 (in 柏保育園)

どんな環境で育っているのかを知るために…



夏季休業を利用し、柏保育園に
お願いをして1年担任で、保育園体験へ
行きました!

1日の流れが確立されており、
中でもやはり中心となっているのは
「遊び」だと感じました。

子どもたちだけで帰りの会を
するなど、たくさんのかたちを
経験していることが分かりました。

11/1 Zoom5歳児交流話し合い

園の先生方・保育士との情報交換

就学に向けて、保育園では
どのようなことをして
おけばよいですか？

アプローチカリキュラム
をどのように活用して
いますか？



給食はどのくらいの
時間で食べていますか？

個別支援級について
色々教えていただき
たいです。

お互い知らないことが多いんだな…

1/29 柏保育園交流

「ま木っこフェスティバル」へ ようこそ!

ようこそ!

こうすると、いっぱい倒れるよ!

言葉遣い、目線を合わせる…
子どもたちなりに園児のことを思いやる姿が見られた。
win-winになる交流をしていきたい!

みんなでトンネルをつくって
お見送り!

また遊ぼうね~!

今後の予定、来年度に向けて…

引き続き、積極的な連携を！

万騎が原幼稚園や
柏幼稚園との交流

今年度できなかった
「給食体験」を
実現したい！

一つの園と年間を
通して深く関わるのも
ありかも…

園の方からも
どんどん声を掛けて
ください！

成果と課題

- 目的意識をもって子どもが活動に取り組むことができた。
 - 活動を通して、自分自身の成長を振り返ることができた。
 - 教職員自身、園と連携を調整する力が付いた。
 - 「まきまきタイム」は子どもたちの安心感につながった。
 - 園とのつながりを意識したことで、子どもたちがスムーズに小学校生活を送ることができている。
 - ▲ 連携を継続して実施するために、互いに見通しをもち、年度当初に予定を立てる必要がある。
 - ▲ 個人ではなく、組織として連携状況を共有し、学校文化として根付かせていかなければいけない。
 - ▲ 教職員同士の連携をさらに高めていきたい。
- 園の先生による小学校体験、個別支援級見学…